

# 第 11 回 文教厚生常任委員会

開催日 令和 5 年 9 月 6 日（水曜日）

開催場所 粕屋町役場 3 F 32 会議室

開催時間 9:30～14:18

出席者	議員	井上委員長・宮崎副委員長・本田委員・久我委員 田川委員・福永委員・古家委員・小池議長
	事務局	松永係長
	担当課	町長・副町長・教育長 ※冒頭挨拶のみ 住民福祉部（神近部長） 総合窓口課（大内田課長・永田主幹・稲永係長・濱地主幹・井上主幹） 子ども未来課（渡辺課長・山田主幹） 健康づくり課（石川課長・渡辺主幹・田中主幹） 堺教育委員会事務局次長 社会教育課（臼井課長・安武主幹・西垣主幹）

欠席者 なし

付議事項  
1) 議案第 70 号 「粕屋町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について」  
子育て世帯への経済的支援として、令和 6 年 4 月から通院に係る医療費の自己負担額を、小学校就学前までは無料、小中学生はひと月 1 医療機関ごと 500 円までとし、入院については、中学生までは無料とするため、粕屋町子ども医療費支給制度について、所要の規定の整備を行うもの。

審査  
古賀市は高校生まで完全無料であるが、医療費助成を拡大することへの町の考えは ⇒ 町の財政状況が違うので、まずは受診回数が多い小中学生までの助成を拡大するというので今回の改正になった。高校生までの拡大は、町長会の議題にも挙がっており検討している。

文教厚生常任委員会で慎重に審査した結果、全員賛成で可決すべきと決した。

## 審査事項

2) 議案第 71 号 「粕屋町重度障がい者医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について」

議案第 70 号「粕屋町子ども医療費の支給に関する条例の一部の改正する条例について」の一部改正に伴い、重度障がい者医療費助成を受けている子どもについても、同様の内容の助成が受けられるよう粕屋町重度障がい者医療費支給制度についても所要の規定の整備を行うもの。

### 審査

3年に一度の医療証の更新手続きや障害者手帳の更新時の窓口手続きがなぜ不要になるのか。⇒ 医療証を発行する基準があり更新時の等級が変わると医療費も変わっていたが、この度の改正で小中学生までは、重度障がい者医療というくくりをなくして子ども医療と一体化することで医療証の更新がなくなる。

文教厚生常任委員会で審査した結果、全員賛成で可決すべきと決した。

3) 議案第 72 号 「粕屋町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について」

この度の議案第 70 号「粕屋町子ども医療費の支給に関する条例」の一部改正に伴い、ひとり親家庭等医療費助成を受けている子どもについても、同様の内容の助成が受けられるよう、粕屋町ひとり親家庭等医療費支給制度について、所要の規定の整備を行うもの。

文教厚生常任委員会で審査した結果、全員賛成で可決すべきと決した。

4) 議案第 73 号 「粕屋町印鑑条例の一部を改正する条例について」

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、マイナンバーカードに記録された署名用電子証明書について、スマートフォンへの搭載が可能となり、コンビニ交付サービスを利用することが可能となること、また、令和 5 年 12 月 28 日をもって、役場に設置している自動交付機による証明書交付サービスを終了することに伴い、関連する所要の規定を整備するもの。

### 審査

スマートフォンに電子証明書を搭載するときに、町のスマホお助け窓口でも支援できるか。⇒ できるが今のところは Android に限っており、iPhone については国の仕様がまだ決まっていないため電子証明書の搭載はできない。

自動交付機がなくなることで、ふれあいカードは必要なくなるのか。⇒ ふれあいカードは印鑑登録証であるため、窓口での印鑑登録証明書交付時は必要になる、他の証明書については、マイナンバーカードを使った交付ができることを案内する。町民が窓口で使い分けに混乱しないようにお知らせする。

文教厚生常任委員会で審査した結果、全員賛成で可決すべきと決した。

5) 議案第 74 号 「粕屋町手数料徴収条例の一部を改正する条例について」

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、マイナンバーカードに記録された署名用電子証明書について、スマートフォンへの搭載が可能となり、コンビニ交付サービスを利用することが可能となることから、関連する所要の規定を整備するもの。

審査

手数料については。 ⇒ もともと戸籍謄本交付手数料は 450 円、コンビニサービスは 400 円で金額変更はない。したがって、スマートフォン搭載での金額には変わりはない。

文教厚生常任委員会で審査した結果、全員賛成で可決すべきと決した。

6) 諮問第 3 号 「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」

現在、人権擁護委員の「森 もり ひろし 紘」氏の退任に伴い、その後任として戸原区にお住まいの「伊東 いとう かずのり 和 範」氏を人権擁護委員の候補者に推薦するため、議会の意見を求められたもの。

「伊東」氏は、経歴書にあるように、長年、小学校で教鞭をとられ、大川小学校の校長を経て、現在も小学校の非常勤講師として学校教育に携わっており、人格・識見ともに優れた方である。

文教厚生常任委員会で慎重に審査した結果、全員賛成で適任とすべきと決した。

7) 意見書案第 1 号「来年秋の健康保険証廃止の実施延期・中止と、任意であるマイナンバーカード取得の強制をやめること」を求める意見書（案）

本意見書案に対して文教厚生常任委員会で議員間討議を行った。

主な意見は、延期と中止が同時に記載されおり、賛成か反対かの判断ができかねる、マイナンバーカードは自分の証明書に使えるのでとても重宝しているなどがあつた。

賛成意見は、健康保険証が紐づいたら強制になる。現行の健康保険証を廃止すると、国民皆保険にならないので、持ってない方が困るということ。

反対意見は、少数の方が困る可能性があるかと理解したが、そのために便利なものをやめるのはどうなのか。少数者にも光を当てるのはわかるが、便利なものを使っていく取り組みは続けてほしい。中止には賛成できないなどがあつた。

委員会で慎重に審議致した結果、賛成少数で否決すべきと決した。

審査事項

## 報告事項

### 報告事項

- ① 町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書（素案）のパブリックコメント結果について
  - ・ 3件のパブリックコメントが提示された。
  - ・ 意見がわかるようにホームページに掲載される。
- ② 中央保育所開園の遅延について  
確認申請の問題。
- ③ 新生児聴覚検査助成事業の新規実施について  
聴覚に障がいをもつ新生児を早期発見し適切な療育につなげ、発達への影響を最小限に抑えるため、検査費用の上限5,000円（1回限り）の助成を行い、保護者の負担軽減を図るもの。令和5年4月1日以降検査実施分より助成。
- ④ 新型コロナウイルスワクチン接種事業の今後の予定について  
令和5年9月20日から令和6年3月31日までの期間、無料で行う。対象は生後6か月以上の方全員。オミクロン株対応 XBB1 価ワクチンで、個別接種のみの対応となる。町内13か所の医療機関へ直接電話予約する。
- ⑤ 阿恵官衙遺跡の現地説明会について  
令和5年8月26日実施。148名の参加があった。

### その他

#### 1) 閉会中の特定事件調査について

- ・ 町立幼稚園・保育所の施設及び管理運営に関すること
- ・ 町立小学校・中学校の施設及び管理運営に関すること
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策に関すること
- ・ 不登校に関すること
- ・ PTA活動に関すること
- ・ 行政視察に関すること
- ・ 専決処分に関すること
- ・ 災害時緊急に協議が必要になった事案に関すること

#### 2) 今後の予定

次回委員会 10月16日（月）9:30～

町PTAとの懇談 10月4日（水）19:30～

福岡市視察 10月10日（月）14:00～